

入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 大学としてのポリシー

多くの課題を抱える現代社会においては、高度の課題解決能力が求められる。本学は建学の精神として黽勉努力（自らの心に従って、自発的に勉め励む）、和衷協同（和やかに心を込めて力を合わせ、共に行動し、ことにあたる）、至誠一貫（誠をもって人に接し、物事に対処して、一筋に真心を貫き通す）を掲げ、校訓三綱領としている。本学は、この校訓三綱領を理解し、基礎学力を有し、勉学意欲が旺盛で、食や心を通して人間の健康と幸福に関心を持つ人を受け入れる。

2 学部・学科のポリシー

栄養学部

① 栄養学科

栄養学科は、次の素養をもった人物を受け入れる。

ア 主体的に学ぶ力と基礎学力を有している。

イ 栄養学関連の科学に関心を有している。

ウ 人々の健康増進・疾病予防・栄養改善に貢献したいという明確な目標と熱意を有している。

② 食創造学科

ア 教育方針及び受け入れの基本方針

自ら勉め励む自主創造の精神と多様な食の領域に挑戦する好奇心を有し、栄養学をベースとした食に関する専門的かつ実践的な知識・技能の活用を通じて、人や社会の幸福の向上に寄与し、予測困難な時代において、食に関する課題解決ができる実践的人材を養成する

イ 求める学生像

- (ア) 食の多様な領域に関心を持ち、挑戦する意欲と好奇心を有している。
- (イ) 食に関する幅広く、専門的な知識と技術を身に付けるため、高等学校卒業程度の基礎学力を有している。
- (ウ) 食に対して、ユニークな発想を尊び、創造的に学ぶ意欲を有している。
- (エ) 自らの考えを的確に表現し、同時に、人々と良好な関係を築き、他者の考えを受け入れる力を有している。
- (オ) 大学での学びを、地域や社会に生かそうという志を有している。

心理学部

現代応用心理学科

ア 教育方針および受け入れの基本教育方針

自分を含めた人間に強い関心を持ち、探求心をもって人の心と行動、人と社会の相互作用を深く理解すること、さらに人の心と行動の多様性や社会のありようを予測的に考えることを通じて、心理学の専門知識を生かしながら、人々の健康や幸福に貢献できる人材を育てる。

イ 求める学生像

- (ア) 人々の健康や幸福に貢献したいという意志を有している。
- (イ) 人の心の動きやそれが引き起こす諸課題を理解したいという意欲を有している。
- (ウ) 調査や対人支援など社会の様々な要求に対して心理学を応用するための、基礎学力、思考力、高い協調性を有している。
- (エ) 公認心理師、臨床心理士などの資格という目標、あるいは、卒業後の自分自身について何らかの目標を有している。

栄養学研究科のポリシー

(1) 博士前期課程

甲子園大学大学院栄養学研究科博士前期課程では、以下の要件を満たす人を受け入れる。

(ア) 食料生産や栄養学、食品学に関連する知識・経験を有している。

(イ) 専門的な学識や技術を活かして社会に貢献することを目指している。

(2) 博士後期課程

甲子園大学大学院栄養学研究科博士後期課程では、以下の要件を満たす人を受け入れる。

(ア) 基礎栄養学、応用栄養学、食品分析科学、食資源利用学のいずれかの部門における博士前期課程を修了、もしくはこれと同等の栄養学、食品学関連の深い知識・経験を有している。

(イ) 大学や企業および各種の試験研究機関において活躍できる自立した研究者、教育者を目指すとともに、社会活動や学術研究を積極的に推進する指導者を目指している。

5 心理学研究科のポリシー

(1) 博士前期課程

臨床心理学あるいは心理学及び関連した分野の問題に、強い関心を持つと共に、豊かな人間力を持ち、人々の幸福の向上に取り組む真面目な態度と情熱を持っている人を求める。

(2) 博士後期課程

「人間」の心についての専門的な知識や技能を持って、人や人間関係等に生じる様々な課題に取り組むことに強い関心を持っており、修得した知識や技能を教育・研究・実践に生かし社会で活躍することを目指している人を求める。